

〔症例概要〕

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用							
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置							
1	男 20代	Ⅲ度熱傷 (気道熱傷)	30g 1日(1回)	出血性ショック	<p>投与日時刻不明 Ⅲ度熱傷 (DB) (面積: 50%TBSA, 部位: 首, 体部, 上肢, 大腿部) を受傷した。</p> <p>投与約11時間前 前胸部, 腹部, 両側上肢に対して, 焼痂切開を実施した。切開実施部位と本剤塗布部位は, 一部重なる部分あり。</p> <p>投与約8時間30分前 ノルアドレナリン注投与開始。</p> <p>投与約8時間前~7時間前 外科的デブリードマンを実施した。デブリードマン実施部位と本剤塗布部位は異なる。</p> <p>時刻不明 本剤塗布前にクロルヘキシジングルコン酸塩液に浸したガーゼを処置部へ貼付し, 包帯で固定。減張切開創には, ワセリン軟膏を厚く塗布して保護した。</p> <p>投与時刻 Ⅲ度熱傷 (DB) (面積: 15%TBSA, 部位: 左上肢, 前胸部) に対して, 本剤を6本使用。本剤塗布後, フィルムで被覆した。</p> <p>投与約3時間後 本剤の混入に最大限注意したが, 血管露出部位に混入した。左上肢と前胸部の皮静脈から出血多量あり (出血量: 不明)。ABPs50mmHg台まで低下した。</p> <p>投与4時間後 本剤は予定通り静置後, 除去して包帯交換を実施した。ノルアドレナリン注を増量した。</p> <p>時刻不明 輸血 (人赤血球液2U×9, 新鮮凍結血漿輸血2U×12, 濃厚血小板輸血20U×1), 止血処置を実施した。</p> <p>投与5時間40分後 止血処理が終了し, 血圧安定を確認した。</p>						
臨床検査値											
検査項目 (単位)		投与1時間前	投与開始時	投与1時間後	投与2時間後	投与3時間後	投与3時間10分後	投与4時間後	投与4時間23分後	投与4時間29分後	投与4時間43分後
ABPs (mmHg)		115	113	107	72	62	56	62	36	60	94
併用薬: 酢酸リンゲル液, プロポフォール, セファゾリンナトリウム, オメプラゾールナトリウム, ノルアドレナリン, フェンタニルクエン酸塩, 生理食塩液, ミダゾラム, ヘパリンナトリウム, ケタミン塩酸塩, アトロピン硫酸塩水和物, グルコン酸カルシウム水和物											

[症例概要]

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用				
	性・年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置				
2	女 80代	Ⅲ度熱傷 (心不全, 急性腎不全, 認知症)	30g 1日 (1回)	出血性ショック	<p>投与26日前 風呂で高温の湯に長時間浸かったことにより, Ⅲ度熱傷 (DB) (面積:17%TBSA, 部位:左上肢, 左足, 左臀部) を受傷した。</p> <p>投与22日前 左上肢, 左臀部, 左下肢に対して, 焼痂切開を実施した。左手背～前腕, 左足背に対して, デブリードマン・分層植皮術を実施した。</p> <p>投与15日前 創感染コントロールのため, ヨウ素軟膏, 精製白糖・ポビドンヨード軟膏を使用開始。</p> <p>投与13日前 腰臀部, 左足に対して, デブリードマン・分層植皮術を実施した。</p> <p>投与日投与時刻 Ⅲ度熱傷 (DB) (面積:15%TBSA, 部位:左上肢, 左足, 左臀部) に対して, 本剤を6本塗布した。</p> <p>投与26分後 本剤塗布部位全体 (肉芽表面の毛細血管) からのDIC様のウー징ングのような出血を看護師が発見した。血圧が60台まで低下し, ノルアドレナリン静注を1.0mg/hまで増量した。</p> <p>投与30分後 本剤をぬぐい, 洗浄, ガーゼパッキングし, バイポーラにて処置した。</p> <p>投与45分後 止血が完了した。出血総量1,550g。</p> <p>投与約2時間30分後 人赤血球液 2U輸血。</p> <p>投与約3時間30分後 人赤血球液 2U輸血。</p> <p>投与日時刻不明 出血性ショックは回復した。</p>			
臨床検査値								
検査項目 (単位)		投与 約6時間前	投与 約4時間後	投与 約10時間半後	投与 1日後	投与 2日後	投与 3日後	投与 4日後
血圧 (mmHg)		105/55	68/32	98/52	118/60	107/21	110/49	107/51
脈拍 (/分)		58	89	122	126	135	138	122
併用薬: 酸化マグネシウム, エロピキシバット水和物, ヨウ素, 精製白糖・ポビドンヨード								